

第10回

# 青と白のコントラストと のんびり温泉につかる 支笏湖の冬

北海道の山々に初雪が降り始め、そろそろ平地も初雪の降る頃になった。この号がでる頃は12月で、雪景色になっているのではないかと思う。雪が降ると少し寂しいけれど、やっぱり道民としては冬も楽しみたい。そして冬に訪れたい場所の一つに支笏湖がある。

私にとって一番身近な湖の支笏湖は、どの季節に行っても良いが、冬はひととき印象的。札幌から向かうときは、南区の方から国道453号をって行くのが多いが、大好きな道は千歳方面から支笏湖に続く、道道16号を通る道だ。まっすぐのびる道が坂になって、まるで空に続いているような場所がある。春の新緑の頃も緑が濃くなった夏もきれいなのだが、雪が降り積もり、木の葉の落ちた枝に雪が付いて、晴れた日の空の青と白のコントラストは、天国まで道が続いているのではないかと思うくらい、とても美しい。なので、多少、遠回りになってもこの道で行きたくなる。

さて、真冬の支笏湖はもちろん寒い。そのピリピリとした寒さにちょっと耐えながら、水際にできる氷の造形をみつけたり、湖面にはらはらと降る雪も眺めたりと散歩するのがいい。そして、何と言っても冬は温泉に入りながら、この風景を楽しむのが一番の醍醐味かも。近年できた新しい温泉宿もとても良いが、少し離れたところにある丸駒温泉の天然露天風呂は、野趣あふ溢れている。お湯が湧き出ている湖畔にある露天風呂は、遠く向こう側には風不死岳と横には樽前山が見える。雪の中のその環境も風景も本当に素晴らしい。

冬に支笏湖に行ったのはずいぶん前になってしまった。文章を書きながら思い出した雪の中の温泉から見た壮大な景色を、また眺めに行きたいなあと思う。



## すずき もも

イラストレーター・絵本作家/スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。代表作に「さっぽろおさんぽ日和」（北海道新聞社）、近著に絵本「はるとなつはたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）と今年1月に出版した「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。また、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。



ビジターセンター  
支笏湖の自然がよく  
わかる施設。季節に  
よっていろいろなイベント  
やツアーが行われ  
ています！

ヘールネン  
ハルデ  
マフィンと  
コーヒーのお店



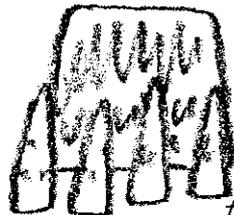
LOG BEAR



ほっと  
ひとやすみ

昼はコーヒー、  
夜はスコッチ  
ウイスキーを  
楽しめる！

本格的



氷濤まこり

毎年2月に行われ  
ている氷の祭典！  
夜はライトアップされ  
とても幻想的！

しっかり  
防寒して  
いこう♪

